

# いいとものわ

市内事業所の  
個性豊かな社長さんや  
店長さんなどの意外な交友関係をご紹介します。  
いつかあなたにも繋がるかも？



## いいとも No.3

岡ノ町にある精麦業を営む「阿部精麦(株)」社長 阿部 一郎さん(41)のご紹介は、駅前有家電製品店「資中越商電社」の専務 永井 賢介さん(41)。お二人は3歳からのお付き合いで、当時、阿部さんのご自宅の隣に永井さんのお店があったことからよく遊んでいたそうです。大人になった今でも同じ野球チームに所属するほど仲の良いお二人です!

お盆のお墓参りが終わると、越後加茂川夏祭りの登場だ。河川敷を広場にして、屋間から夜のとばりが下りるまで、老若男女が楽しむ一大イベント。若者たちが企画して、町の長たちがサポートするこの祭りも、今年で29年目を迎える。因みに新潟の夕日コンサートも29年目。田上のせえばなるも29年目。

企画の一つの発端は、祭りの多い加茂、秋にある二つの花火の上がる祭りを、一つの大きな花火祭りに出来ないものか、だった。結局、祭りを増やしてしまったわけだが、当初はゼロからのスタート。試行錯誤の連続で、前日から泊まり込みで準備したこともあった。その様子がTV番組のメイキング映像に流れたり、飲み屋連から陣中見舞いが届いたり、結構楽しんでやっていた思い出がある。

その祭りも盆踊り、2km大ナイアガラをメインに、いろんな仕掛けで毎年違った顔を魅せる。河川敷を繋げて広場にするという形態は、他では類を見ないのではないか。スタジアムのように観客は上から見下ろせる。踊るアホウに観るアホウ、どちらも楽しめるのだ。それに街の真ん中を川が流れ、橋の多い地の利を利用してのナイアガラは、なんと全長2km。目の前を火蓋が走り、加茂川を降り照らしていく様子は、荘厳で大好きな場面だ。

生業をやりくりして、みんなで作る夏祭り、目指すものは何なのだろう？ それはやはり、みんなの笑顔、その一点に尽きるのではないかと。笑ってる顔は福を招くという。素敵な笑顔を咲かせるために、

## (株)新電社

【住 所】加茂市仲町1-23  
【TEL】0256(52)0469  
【FAX】0256(52)4467  
【営業】8時～17時  
【休日】第2、第4土曜日、日曜日、祝日



今年も8月14日(木)、越後加茂川夏まつりは盛大に行われるのであった。

コラム  
よもぎま

笑顔 招福



(株)新電社  
社長 関川 正一